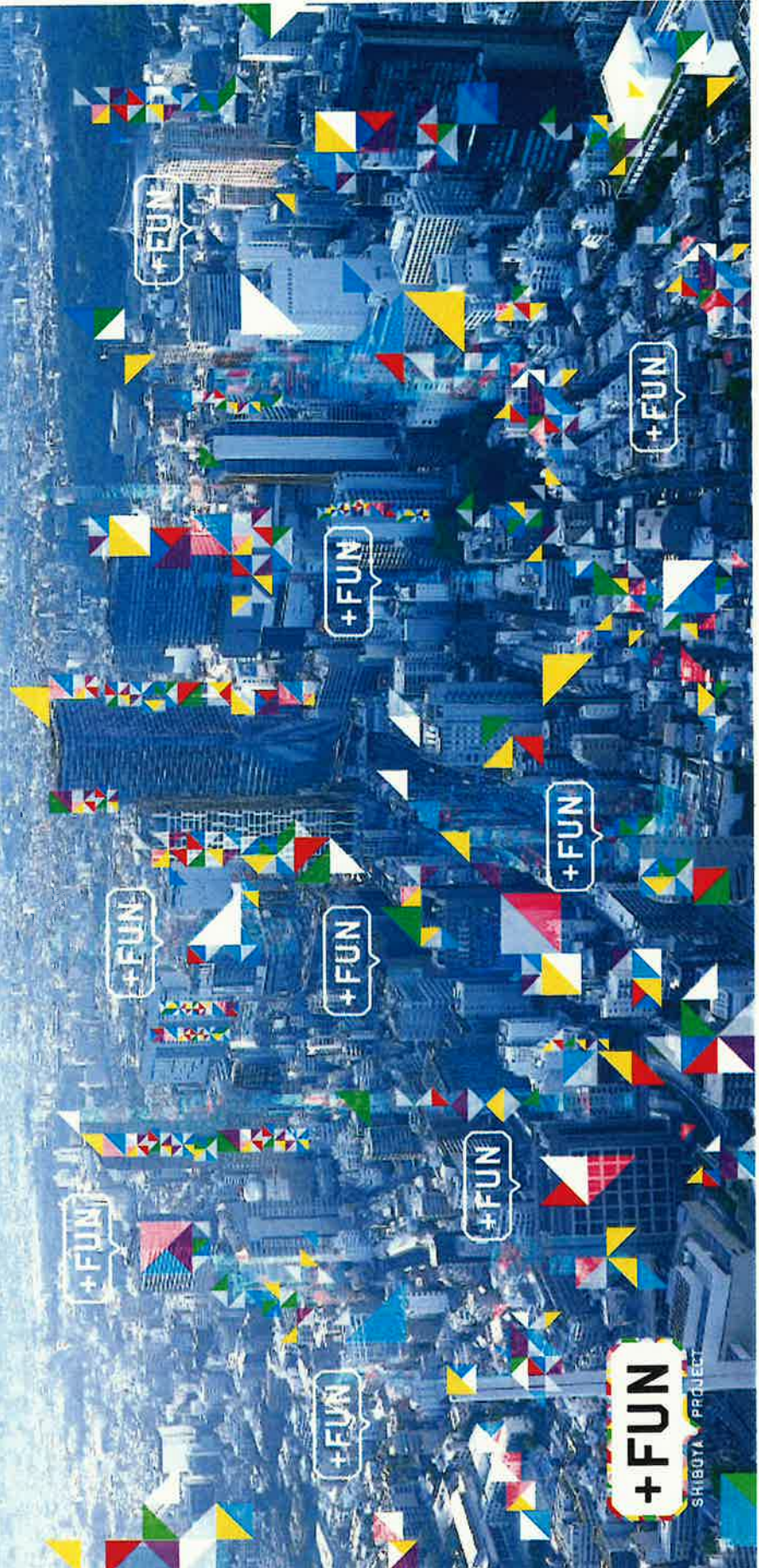


SHIBUYA AREA MANAGEMENT ACTIVITY REPORT 2013-2020

渋谷駅前エリアマネジメント活動レポート 2013-2020

遊び心で、渋谷を動かせ。



+FUN
SHIBUYA PROJECT

なぜ、変える？ どう、変える？ 渋谷。

もしもエリアマネジメントが なかったら…？

渋谷を感じる不便や不安を見通さしたら、みんなに愛されるまちになれないから。
私たち渋谷駅前エリアマネジメントは、たくさんの人々の力を合わせて、その解消に取り組んできました。
しかし、まだまだ十分ではありません。
渋谷が大好きな若者にも、いまはちょっと渋谷が苦手な子連れの人にも、渋谷で働いている人にも、学生にも、
外国人にも、ご高齢の人にも、車椅子で利用の人にも、そして、もちろん、地元で長く住む人にも。
渋谷の入口である駅前エリアを、誰もが訪れたいくなるワクワクドキドキへの入口に変えていきます。

車両サインが(バラバラで
おりにくい)

ごみやゴミが多くて
清浄が難しい...

交差点の駐車場が
見つからない!

自分のアート作品、
見てもらえる場所がないかな?

工事が多くて、来るたびに
動員が滞っている

急に地震が来たらどうしよう

P2	イントロダクション	P8	SHIBUYA +FUN PROJECT
P4	VISION	P10	これまでの活動【まちづくりのルールづくり・開業】
P5	活動エリア	P13	これまでの活動【まちづくりの運営】
P6	活動内容	P16	HISTORY 活動年表
P7	サステナブルな仕組み	P18	MESSAGE to SHIBUYA I

ABOUT 渋谷駅前エリアマネジメント

SHIBUYA +FUN PROJECT

VISION

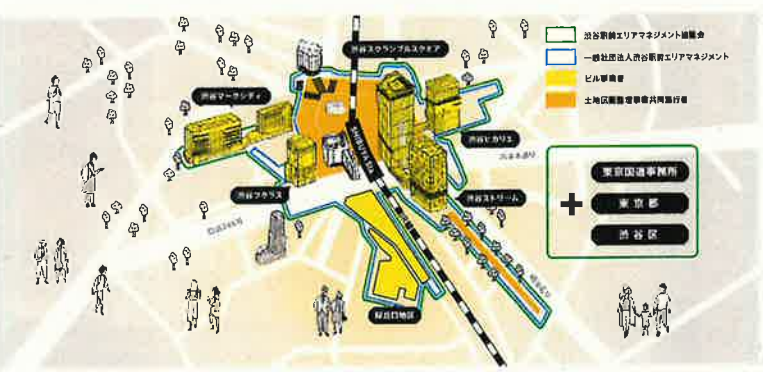
渋谷が世界一だと思える人をふやす。

渋谷を愛してくれている人に、これからも愛してもらえるように。
渋谷に縁がない人も、渋谷を好きになってもらえるように。
渋谷は、年齢や職業などによらず、好奇心や創造性をもった
より多くの人が集まるまちでありたいと思います。
訪れる人、喜ぶ人、商売を営む人、一人ひとりにとって、
ここが世界一だと思ってもらえる渋谷を目指して、駅前は進化していきます。

活動エリア

渋谷の玄関口を どこまでおもしろくできるか。

渋谷駅前エリアマネジメントは、2つの団体が力を合わせて、渋谷駅前の街区とそれに接続する公共空間で、
まちをもっと楽しく、安全・安心に過ごせるようにしていくための取り組みを行っています。



<p>渋谷マークシティ 渋谷駅の駅前に完成し、町屋並みの美しいショッピングモール・ホテル・オフィスが並ぶ複合施設</p> <p>開業 2000年4月 【主要テナント】東急(株)、東武(株)、東武電気(株)</p>	<p>渋谷ヒカリエ 駅南側の駅舎、イベントホール・クリエイティブスペースなど渋谷を代表する個性化施設を併せた複合施設</p> <p>開業 2012年4月 【主要テナント】渋谷区文化振興プロジェクト、武蔵野音楽大学</p>	<p>渋谷ストリーム 都庁・都立大学・都立病院の跡地を再生させたエリア。オフィス、ホテル、住宅など多様な用途が並ぶ複合施設</p> <p>開業 2018年9月 【主要テナント】渋谷区駅前地区プロジェクト、東武(株)、東武電気(株)</p>
<p>渋谷スクランブルスクエア 渋谷駅南側の駅舎跡地、オフィス、公共施設、商業を併せた複合施設。ランドマーク的な高層ビル</p> <p>開業 (予定) 2019年11月 開業 (予定) 2020年12月 【主要テナント】東急(株)、東武(株)、東武電気(株)、東武不動産(株)、東武不動産(株)</p>	<p>渋谷フクラス 駅南側の駅舎跡地、オフィス、公共施設、商業を併せた複合施設。ランドマーク的な高層ビル</p> <p>開業 2019年11月 【主要テナント】東武(株)、東武不動産(株)、東武不動産(株)</p>	<p>渋谷駅前地区 駅南側の駅舎跡地、オフィス、公共施設、商業を併せた複合施設。ランドマーク的な高層ビル</p> <p>開業 2019年11月 【主要テナント】東武(株)、東武不動産(株)、東武不動産(株)</p>

渋谷の顔にふさわしい、世界を驚かせる景色をつくる。

誰もが歩きやすいまちであらゆる人を歓迎したい。

1 屋外広告物地域ルール

これまでの渋谷らしさから、かつでない渋谷らしさへ。

渋谷の中心にある渋谷駅。これまでの渋谷の景観を活かしながら、新しい渋谷駅中心地区の景観づくりに取り組んでいます。エリアで屋外広告物ルールを策定し、収益をまちに還元することを条件に、今までは探索が難しかった広場や通道の広告掲出、高層ビルの中層部への巨大型サインの設置などが可能になりました。

実績が豊富だった広場・通路での広告掲出を可能に！



2 デザイン・基準調整

初めでも、自分のまちのように歩ける案内誘導を。

渋谷駅周辺では、鉄道やビルがそれぞれ独自の案内サインを整理していたため、実態によって適切な案内表示とは言いませんでした。渋谷区とともに、渋谷駅中心地区のまちづくりを担っている事業者をひとつにまとめ、サインガイドラインを策定。ガイドラインに基づき、初めて訪れる人にも分かりやすい案内誘導づくりに取り組んでいます。渋谷駅前サインは渋谷区公共サインとともに、2020年日本サインデザイン賞にて、経済産業大臣賞を受賞しました。

パノパノでわかりやすくなったサインの整理を統一！



ターミナルと駅前の結節点となる駅前広場のサインエリアを定める公共サインを策定。導入する駅：ハチ公広場、西口広場、駅前広場。



渋谷駅地下出入口番号の変更。地下もA～Dのエリアに分け、各出入口の番号を組み合わせで表記。



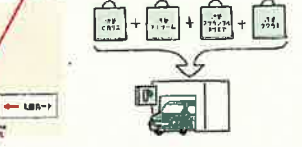
駅内誘導サイン。9施設導入済み。2020年8月時点。駅前広場・西口広場。

3 駐車場活用

駅中心地区の賑わいを減らし、歩かすまちに！



つくるのは、人とクルマの幸せな関係。自動車駅中心を行き交うことで、歩行者が歩きづらくなった渋谷駅前。そこで、各街区の事業者が協力し、駅中心地区への車両流入を軽減するために導入ルートを整理しました。また、各施設でのお買い上げ金額を合算し、その合算金額に応じた駐車場サービスがご利用可能です。



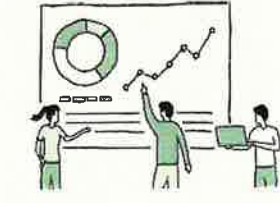
渋谷がもっと好きになる、キレイで安心なまちづくり。

たくさんの個性を集めて、新たなまちの魅力を発信。

4 施設の管理

考えが違います、詳細な対応が公共空間のびり方！

官民が二人三脚で進める、未来を見据えた社会実験。官民により、官民の間に新しい公共空間が湧きと誕生していきます。いつまでも愛される、安心で心地のいい空間になるように、東京臨海副都心、東京駅、渋谷区と協働して渋谷駅周辺の道路の清掃サービスレベルの向上方法について検討し、すでに数カ所で清掃を実施しています。



実験の代表例
2017年度 渋谷駅周辺のごみや汚れの実態調査
2018年度 渋谷駅周辺地下広場を念頭に、渋谷駅東口地下歩道で清掃実験
2019年度 将来的な清掃コスト削減を目的とした清掃ロボット実験
2022年に向けて東口広場、西口地下歩道等今後利用開始になる公共空間も含めたエリア全体の維持管理方法を引き続き検討しています。

5 防災・防犯

情報連携体制・指定避難者受け入れルールを統一！



「もしも」の場合に備えた、安心の体制とルールづくり。

工事期間中から防災対応について、東京都、渋谷区、工事関係者や建設業者、有事の際の情報連携体制・ルールを策定。また、渋谷ヒカリエ、渋谷ストリーム、渋谷スクランブルスクエア、渋谷フクラスを軸とした渋谷駅前エリアマネジメント協議会における帰宅困難者受け入れルールや避難者誘導、情報連携ルールを作成しています。

2016年に工事期間中の管理体制について、渋谷スクランブルスクエア新1階（旧1）渋谷ストリーム・渋谷フクラス（旧1階）と並び、事業者、工事関係者、渋谷区（事務局）と並列したチーム体制を構築し、緊急時の対応を適切に行うことができるようになりました。

5つの街区で避難し、避難経路を確保。帰宅困難者受け入れ空間の誘導ルールを検討し、避難計画に反映させると共に、渋谷区及び渋谷駅周辺地区避難者受け入れと連携を促し、渋谷区が策定した避難者受け入れ計画に組み込みました。

6 AEMS・環境対策

まち全体でエネルギー効率を高め、環境負荷を軽減！

谷を冷やす、地球にやさしい環境をつくる。谷に位置する渋谷駅前は暑さの入りやすい、大気汚染の発生しやすい環境負荷の増大が懸念された。そこで、エネルギー効率の向上を目指し、各街区で導入したAEMS（エリアエネルギーマネジメントシステム）の導入に向けた調整を進めています。



渋谷、渋谷ヒカリエ、渋谷ストリーム、渋谷スクランブルスクエア、渋谷フクラスのエコエネルギー活用。AEMS（エリアエネルギーマネジメントシステム）を導入し、エネルギー効率を高め、環境負荷を軽減しています。

7 街区共同イベント

渋谷駅前エリアマネジメントがコアとなり、オール渋谷で盛り盛り！

みんなが創り、みんなが参加し、みんなで盛り上げる。各街区の個性を活かしながら、渋谷の魅力を上向きに、新たな渋谷を世界に発信し続けるために、商店街、行政、事業者、大学、芸術家など、渋谷に関わるみんなで、まち全体を盛り上げていきます。



渋谷駅前エリアマネジメント。渋谷を誇れる人が安心して暮らせるための取り組みとして、YOU MAKE SHIBUYA COUNTDOWNを2016年より実施。



渋谷駅前エリアマネジメント。渋谷駅周辺の賑わいを減らし、歩かすまちに！を目的に、まちが一体とって取り組む取り組みを実施。駅周辺だけでなく、まち全体でイベントで、盛り盛りでまちづくりを目指しています。

広場を増やすことは、まちにワクワクを増やすこと。

めぐり歩くだけで 素敵な発見に出会えるまちへ。

8 広場の利用

制度を活用し、地下空間に賑わいを生み出す！



駅とまちを楽しみさでつなく、新しい地下空間。

渋谷駅周辺には、人が集い、憩える空間が不足していました。そこで2019年、渋谷駅周辺地下広場が誕生。渋谷川が埋上りに架かる巨大な地下空間は、ただの広場ではなく、都市再生推進法人の制度を活用し、観光案内もできるカフェや広場を設けることで、まちに賑わいを生み出します。また、行政の協力を得て、JTBグループ傘下の渋谷区立渋谷駅前公共施設等や、都庁・久松短期大学とバス案内所も完成しました。この広場で得た収益はまちづくり活動と広場の維持管理に充てられます。



10 情報発信 11 観光

ひとと紐づく 情報発信を！

もっとワイワイしたくなるWi-Fi。

渋谷を訪れた人の利便性を高め、楽しく遊べるように。渋谷駅(東横線、副都心線、田園都市線、半蔵門線)中層施設など、まちの様々な場所で使えるフリーWi-Fi「SHIBUYA Wi-Fi」を提供しています。大規模イベントには登録不要でつかうことが可能です。

渋谷のワクワクが詰まった複合型発信拠点。



渋谷駅ハチ公広場複合観光案内所「SHIBUYA HACHI BOX」

渋谷駅ハチ公広場の有るエリアに、新たに観光情報発信拠点を設置。Shibuya Info Box、SHIBUYA FUTURE VISIONでも行ってきたまちの魅力を発信する機能を引き継ぎます。本施設では国家戦略特区指定前申請制度の認定に向けた施設整備を行っています。



フリーWi-Fi「SHIBUYA Wi-Fi」©2020年9月現在



Shibuya Info Box

まちの未来像を伝えるカフェと渋谷駅周辺の工事の最新情報、話題などをオープン。2016年11月2017年8月

SHIBUYA FUTURE VISION

渋谷駅ハチ公広場で、未来の渋谷駅周辺を再現した1/500スケールの大型模型を展示。

工事現場にエンタテインメントを。

9 工事中の魅力付け

日常の楽しみをキャッチし、それぞれの個性を表現！

完成する前から親しみ、楽しめる場所に。

渋谷駅南再開発事業で、長い期間工事が続く渋谷。工事中の渋谷を明るく、楽しいイメージに変化させていくため、工事事業費や大学などと連携し、仮囲いを使って渋谷の魅力を活かす様々なプロジェクトを仕掛けていきます。



東京国立近代美術館 2016年から、東京国立大学の学生と連携し仮設と連携。2019年は、原宿地区の3箇所を舞台に、青森県地域に特化したデザインプロジェクトを実施。



しほりてアート・建築アート施設 工事中の仮設道路の設置を活用し、一般財団法人渋谷区観光振興会とともにアート空間を創出。自由なアートと建築・デザインとの関係の場としてまちの賑わいと楽しみを創出します。



クレイムLEDアート 渋谷駅周辺の解体工事現場のクレーンに、約3万灯のLEDを使用した高さ約20mのイルミネーションを設置。(2014年12月-2015年3月)

12 事業計画策定

近い将来まちで暮らすつくり、活動の一体感を育む！

まちの節目を、まちぐるみで盛り上げる。

渋谷駅周辺の工事は15年以上と長期に及ぶため、まちの成長を促進する節目づくりとして、行政・事業者・地元住民が連携し、まちが一体となる取り組みを行っています。「つながり」と連携による相乗効果、季節イベントを始め、「まちぐるみプロジェクト」で推進。2027年に向けて、1、11、11月と長期かつ定期的な仕掛けを行います。



第1期まちびらき／2019年9月

第11期まちびらき／2019年11月-12月



River 渋谷ストリーム&渋谷川の盛り上げ



HELLO NEO SHIBUYA 南側八雲橋公園通りなど「まちぐるみ」の取り組みへ

第11期まちびらきは、2023年度予定です。

渋谷駅中心地区のまちづくりと渋谷駅前エリアマネジメントの歩み

渋谷駅中心地区のまちづくりの歩み

年	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021-2026	2027-
10月	渋谷駅周辺再開発(1期)の仮設仮囲い設置開始	渋谷駅周辺再開発(2期)の仮設仮囲い設置開始	渋谷駅周辺再開発(3期)の仮設仮囲い設置開始	渋谷駅周辺再開発(4期)の仮設仮囲い設置開始	渋谷駅周辺再開発(5期)の仮設仮囲い設置開始	渋谷駅周辺再開発(6期)の仮設仮囲い設置開始	渋谷駅周辺再開発(7期)の仮設仮囲い設置開始	渋谷駅周辺再開発(8期)の仮設仮囲い設置開始	渋谷駅周辺再開発(9期)の仮設仮囲い設置開始	渋谷駅周辺再開発(10期)の仮設仮囲い設置開始	渋谷駅周辺再開発(11期)の仮設仮囲い設置開始	渋谷駅周辺再開発(12期)の仮設仮囲い設置開始	渋谷駅周辺再開発(13期)の仮設仮囲い設置開始
11月	渋谷駅周辺再開発(1期)の仮設仮囲い設置開始	渋谷駅周辺再開発(2期)の仮設仮囲い設置開始	渋谷駅周辺再開発(3期)の仮設仮囲い設置開始	渋谷駅周辺再開発(4期)の仮設仮囲い設置開始	渋谷駅周辺再開発(5期)の仮設仮囲い設置開始	渋谷駅周辺再開発(6期)の仮設仮囲い設置開始	渋谷駅周辺再開発(7期)の仮設仮囲い設置開始	渋谷駅周辺再開発(8期)の仮設仮囲い設置開始	渋谷駅周辺再開発(9期)の仮設仮囲い設置開始	渋谷駅周辺再開発(10期)の仮設仮囲い設置開始	渋谷駅周辺再開発(11期)の仮設仮囲い設置開始	渋谷駅周辺再開発(12期)の仮設仮囲い設置開始	渋谷駅周辺再開発(13期)の仮設仮囲い設置開始
12月	渋谷駅周辺再開発(1期)の仮設仮囲い設置開始	渋谷駅周辺再開発(2期)の仮設仮囲い設置開始	渋谷駅周辺再開発(3期)の仮設仮囲い設置開始	渋谷駅周辺再開発(4期)の仮設仮囲い設置開始	渋谷駅周辺再開発(5期)の仮設仮囲い設置開始	渋谷駅周辺再開発(6期)の仮設仮囲い設置開始	渋谷駅周辺再開発(7期)の仮設仮囲い設置開始	渋谷駅周辺再開発(8期)の仮設仮囲い設置開始	渋谷駅周辺再開発(9期)の仮設仮囲い設置開始	渋谷駅周辺再開発(10期)の仮設仮囲い設置開始	渋谷駅周辺再開発(11期)の仮設仮囲い設置開始	渋谷駅周辺再開発(12期)の仮設仮囲い設置開始	渋谷駅周辺再開発(13期)の仮設仮囲い設置開始

フェーズ0：上位方針の形成

渋谷駅周辺再開発(1期)の仮設仮囲い設置開始

フェーズ1：活動の基盤づくり

渋谷駅周辺再開発(2期)の仮設仮囲い設置開始

フェーズ2：社会実験の実施

渋谷駅周辺再開発(3期)の仮設仮囲い設置開始

フェーズ3：施設の開業と渋谷の魅力づくり

渋谷駅周辺再開発(4期)の仮設仮囲い設置開始

渋谷駅周辺再開発(1期)の仮設仮囲い設置開始

渋谷駅周辺再開発(2期)の仮設仮囲い設置開始

渋谷駅周辺再開発(3期)の仮設仮囲い設置開始

渋谷駅周辺再開発(4期)の仮設仮囲い設置開始



2021年度活動報告と今後の予定

1. 屋外広告物地域ルール

① 東横店解体工事中の仮設物を利用した広告販売を実施



東横店解体後の広告展開を検討中

② 渋谷駅東口地下広場の広告改善



既存媒体も予算に対し増収を見込む

2. デザイン・基盤調整

① サインガイドライン修正

・掲載基準の明確化、内容構成の修正、運用方法の見直し
→効率的かつ確実なガイドライン更新運用方法を確立

3. 防災・防犯

① 防災

・発災時の緊急連絡網（メーリングリスト）の更新を実施。行政と街区を対象にテストメールを配信し、連絡網をメンテナンス。
・2021年10月7日の震度5の地震発生時にメーリングリストを活用し、各街区と行政間の情報連携を実施。
→メンテナンスやテストメール配信の実施により、実際の発災時にトラブルなく対応

4. AEMS・環境対策



① AEMS

CO2排出量のデータ共有及び表現方法確定、その他環境配慮に向けた施策の検討

② 環境対策

SHIBU HACHI BOXにおいて、環境対応や社会課題の解決を意識し再生可能エネルギーを活用した運営を検討

2021年度活動報告と今後の予定

5. 街区共同イベント



①渋谷ストリートギャラリー

- ・ヨコガオ展：上期は約20名のヨコガオを展示。
- ・渋谷芸術祭との連携作品「深呼吸の在処」
→毎月作品を更新することで戦略的・継続的にまちの魅力を発信

6. 工事中の魅力付け

①渋谷駅西口仮設通路「しばにしデッキ」でのアート展開

- ・日常におけるアートとの接点、クリエイターの発信場として、アート展開を実施。



2021/10より実施方見直し

7. 情報発信

①渋谷スクランブルスクエアビジョンでの放映

- ・東京都立大学の学生による、渋谷らしい景観形成を目的とした作品の放映



②STREET ART LINE PROJECT

ストリートアートを取り入れた点状ブロックの啓蒙

- ・健常者に点状ブロックの存在意義を訴求し、視覚障がい者が歩きやすいまちを作り出す取り組み。



2

2021年度活動報告と今後の予定

7. 情報発信

③HPリニューアル (7/20～) Instagram開設 (7/1～)



④「シブヤをつくるゼミ」開講

シブヤ大学と連携し、渋谷エリマネ活動の担い手を創出

- ・16名のゼミ生が駅前におけるまちづくり事業案を企画中
- ・+FUNかつ実現可能性が高い案を採用し、実施に向けた検討を行う
→幅広い年齢層が参加することで、多種多様で活発な議論を展開
(2022年2月 最終発表予定)

シブヤ大学



⑤SHIBUYA Wi-Wi-Fi

- 渋谷区立北谷公園に整備、展開エリアを拡大



⑥SHIBU HACHI BOX

- ・観光案内スペース
人気の高いハチグッズやお守りを、10/7より販売開始
- ・街の情報発信スペース
エリマネ公式Instagram、渋谷経済新聞と連携し、渋谷ニュースの配信※2022年1月より配信予定



8. 事業計画策定

- ・自立経営に向けた経営基盤の確立

- ①組織体制の変更、会議体見直し
- ②規程類の制定および改正
- ③月次収支管理仕組み構築
- ④グループウェア(会計・稟議等)導入予定(第4四半期)等

3